

2022年2月 沖縄・伊江島研修会



開催日：2022年2月27日(日)～3月4日(金)

参加者：15名（留学生14名・日本人学生1名）

主催：一般財団法人共立国際交流奨学財団

協力：一般社団法人伊江島観光協会



研修会実施にあたり、参加学生がワクチン2回接種済である確認をした上で、研修会出発の10日前からの検温・体調の記録を実施してもらいました。研修会中は朝夕の検温・問診、基本的な感染対策をしっかりと行いました。

※写真撮影時や屋外での活動時は、マスクを外しています。

また、研修会最終日から10日後に、参加者15名全員とホストファミリーから体調に問題ない旨、報告を受けました。

日程

月日	時間	日程	食事	宿泊先
2/27 (日) バス	08:30 09:30 12:30 13:00 17:00 17:30	羽田空港集合 羽田空港発(ANA995) 那覇空港着 那覇空港発 本部港発(フェリー) 伊江島着	昼:× 夜:○	民家ホームステイ
2/28 (月)		伊江島ホームステイ 離島の暮らしを体験しよう ～文化・生活体験～ 	朝:○ 昼:○ 夜:○	
3/1 (火) バス	13:00 13:30 15:00 16:00	伊江島発(フェリー) 本部港着 座喜味城跡 残波岬	昼:○ 夜:×	ザ・ビーチタワー沖縄 〒904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜 8-6 TEL:098-921-7711
3/2 (水)	終日	自主研修日 	朝:○ 昼:× 夜:×	
3/3 (木) バス	09:00 10:30 13:30 14:00	ホテル発 カヤック体験@屋我地島 二人一組で乗るカヤック♪自然を満喫しよう!  昼食【カレーライス】@又吉コーヒー コーヒー焙煎体験@又吉コーヒー 沖縄の地場産業を学ぼう! 	朝:○ 昼:○ 夜:○	ホテル JAL シティ那覇 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志 1-3-70 TEL:098-866-2580
3/4 (金)	10:00 14:00 15:05 17:25	(各自空港へ) 首里城&周辺散策(金城町石畳道) 那覇空港集合(時間厳守) 那覇空港発 (ANA470) 羽田空港着 解散	朝:○ 昼:×	なし





参加者

No.	氏名	性別	国籍・地域	学校名
1	王 英男	男	中国	専門学校東京ビジュアルアーツ
2	朱 力	男	中国	中央大学大学院
3	中村 晃大	男	日本	横浜国立大学
4	任 哲雄	男	韓国	国士舘大学
5	申 祥フン	男	韓国	国士舘大学
6	閻 崇肖	男	中国	国士舘大学
7	張 景森	男	中国	国士舘大学大学院
8	GAO JUN	男	中国	国士舘大学
9	徐 啓超	男	中国	国士舘大学
10	李 欣	女	中国	中央大学大学院
11	葉 嘉敏	女	中国	国士舘大学
12	徐 芸菲	女	中国	帝京大学
13	WANG QINGWEN ANGELINA	女	香港	東京女子大学
14	HUANG KEYU	女	中国	東洋大学大学院
15	NGO THI HUONG	女	ベトナム	帝京大学大学院
引率	土屋 麻美	女	日本	(一財) 共立国際交流奨学財団



留学生14名・日本人学生1名の
計15名が参加してくれました！



1日目

羽田空港 集合



参加者には、研修会10日前からの健康観察シートの記入をお願いしました。羽田空港では、健康観察シートの回収、参加者全員の問診・検温を行ない、問題なく全員が集合しました。



入村式

本部港からフェリーで30分、ホームステイをする伊江島に到着しました！入村式では、参加者代表で中村君から挨拶をしてもらい、3日間お世話になるホストファミリーと顔合わせしました！



伊波山家

徐 啓超 / 申 祥フン / GAO JUN

最初は「相当にありがとう」と伊波山家のおじ、おばあに言いたいです。三日間、短いですが。楽しかったです。後、おじは私たちを連れて、島内のむかしからの習俗、文化などをたくさん教えた。最後おじの手料理はすごくおいしかったです。まだ機会があれば、もう一度「伊江島」に行きたいです。

徐 啓超 (中国) 国士舘大学



下門家

王 英男／中村 晃大／朱 力



伊江島で下門・おじいちゃんの家にて二泊しました。伊江島の自然、歴史、文化をたくさん教えていただきました。そして、毎日のおばあちゃんの手作り料理は、とても豊富で美味しかったです。おじいちゃんが果物の農家で、ニコニコして畑を案内している様子は、とても印象的です。サトウキビや枇杷なども食べて、植物の成長を見守る楽しさ、農業の魅力をもっと感じました。はじめてのホームステイですが、非常に良い経験になったと思います。

朱 力 (中国) 中央大学大学院



任 哲雄／張 景森／閻 崇肖

玉城家



伊江島はほんとうにすばらしいところです。みんな静かな生活を送っています。おいしいご飯を作ってくれてありがとうございます。家もきれいで、私はこのような家が好きです。島の風景はとてもきれいで、美しいビーチと田野があって、私は島の生活が大好きです。ありがとうございました。

張 景森 (中国) 国士舘大学



山城家

李 欣 / WANG QINGWEN ANGELINA
徐 芸菲 / 土屋 麻美 (引率)



山城家の親切さをとても感じました。また、山城家のおばあとお話して、伊江島での生活はどのような感じを知り、おばあご家族についてもたくさんわかりました。2泊3日の中、伊江島の多くのところに連れ去れ、伊江島ならではの美景を見ることができました。そして、初めてジャガイモを掘り、とてもいい経験だと思いました！今後また伊江島に行き、おばあを訪ねたいと思いました。

WANG QINGWEN ANGELINA (香港) 東京女子大学



知念家

葉 嘉敏 / HUANG KEYU / NGO THI HUONG



知念家の主人はガリーさんです。ガリーさんはとても親切なフィリピン人です。いつも美味しい料理を準備して、デザートもドリンクも準備してくれました。ガリーさんからいろいろな民泊のことを聞きました。ガリーさんの子供は5歳です。すごくかわいいです。私たちは世界問題、料理の作り方、面白いことなどが話しました。もし将来ら機会があれば、もう一回伊江島へ行きたいと思います。

葉 嘉敏 (中国) 国士舘大学





離村式

3日間お世話になったおじい・おばあとお別れです。
参加者代表の李欣さんより「3日間お世話になりました。必ずまた伊江島に戻ってきます」と挨拶してもらいました。ホストファミリーからは「また帰ってくるんだよ」「いってらっしゃい！」と温かい言葉をかけてくださいました！




座喜味城跡

世界遺産：琉球王国グスク及び関連遺産群

城壁や城門の石積みの精巧さや美しさは沖縄の城の中で随一！
琉球王国の歴史を学びながら、1420年頃の石造建築技術の高さを示す貴重な史跡でした。




残波岬

高さ30m前後の断崖が約2 kmにも連なる雄大な景観！
天気も良く、灯台からの眺めはとてもきれいでした！





自主研修日

参加学生の皆さんには、
学びたいことや行きたい場所を自分で考えて企画し、
一日過ごしてもらいました！

閻 崇肖 / 徐 啓超 / 王 英男

慶良間諸島を代表する離島・座間味島に行きました！
車に乗って島を回り、
展望台ではとてもきれいな景色を見ることができました。



朱 力 / 李 欣 / 徐 芸菲

沖縄県立博物館・美術館に行きました！
沖縄の自然や歴史、近代の文化などを学んできました。



そのほか、アメリカンビレッジで東京では食べられない料理を食べたり、ホテル周辺を散歩したり、思い思いに過ごしたようです。





カヌー体験@屋我地島

屋我地島の内海でカヌーを漕ぎました！
初めてカヌーに乗る人も、楽しみながら自然を満喫しました♪



3月3日に屋我地島でカヌーを体験しました。初めてカヌーを体験し、最後まですごく楽しかったと思いました。出発する前に、やり方や注意事項などを学んで、往復でうまくいきました。ビーチでカニ、あさり、小さな魚など様々な海産物を見つけました。初めてのカヌー体験をして面白かったです。深いところいけませんが、今後、チャンスがあれば楽しいところ行きたいです。

閻 崇肖 (中国) 国土館大学



自分はカヌーはじめてです。意外と濡れています。女性としてカ結構掛かっていると感じています。しかし、2人一緒にカヌー乗るとやはり楽しかったです。そこにチームワークの力を感ぜられるのは、とても楽しいことでした。無人島も、たくさんの生物やとてもきれいな海を見ることができ、すごくいいと思います。今までやったことのないことを体験して、いつもと違う楽しさを味わうことができよかったです。徐 芸菲 (中国) 帝京大学

私は体を動かすのがあまり好きではなかったため、研修会のスケジュールの中でカヌー体験が一番心配しましたが、思ったのと違ってとても楽しい経験になりました。久しぶりに自然と触り合い、子供に戻ったかのように小さいカニを見てみんな喜んだり、楽しみました。また、風景がとても綺麗でずっと見てしまっただが、いつもと違う風景を見ることはとても大事なことだと思いました。また、また機会があればぜひカヌー体験をしたいと思いました。

任 哲雄 (韓国) 国土館大学




コーヒー焙煎体験@又吉コーヒー

沖縄の温暖な気候ならではの産業を学びました！
おいしいコーヒーをつくるコツを教えてもらいながらオリジナルコーヒーを味わいました！



初めての焙煎体験でしたが、とても楽しかったです。自分で淹れたコーヒーの味はやわらかくて、飲みやすかったです。

HUANG KEYU (中国) 東洋大学大学院

自画自賛ですが、自分で作ったコーヒーは最高です！焙煎体験はとても楽しかったです！

王 英男 (中国) 専門学校ビジュアルアーツ



6日目



首里城

世界遺産：琉球王国グスク及び関連遺産群

沖縄の歴史・文化を象徴する城！
琉球王国の中心地として450年栄えた歴史を学びました！



那覇空港→羽田空港

6日間
おつかれさま
でした



6日間の研修会を振り返ってどうでしたか？



初めての沖縄は訪問で、今までに体験したことがないくらい楽しかったです。ホームステイやカヤック、コーヒー体験などの機会をもらいました。一番印象に残ったのは、現地の人々と生活したホームステイです。現地の人々の生活や食べ物、文化、伝統などについて互いに話すことがとても楽しかったです！

NGO THI HUONG (ベトナム) 帝京大学大学院

初めての研修会で、初めて沖縄に来ましたが、とても楽しかったです。ホームステイも色々楽しかったです。おばあちゃんも優しくかったです。きれいな海や星も見て、沖縄料理も食べて、満喫しました。カヌーは初めてでしたが、意外と力を使わずに協力して漕いで、とても楽しかったです。自分手作りのコーヒーは、一番美味しかったです。

徐 芸菲 (中国) 帝京大学



今回参加者15名の中で、唯一の日本人として楽しませてもらいました。今まで沖縄は行ったことはなかったですが、ホームステイとかカヌー漕いだりとか、自由行動で友達と映画を見たりとか、様々な貴重な体験をさせてもらいました。一番楽しかったのは、ホームステイ2日目でみんなでバレーボールをしたことです。久々に体を動かして良い思い出になりました。

中村 晃大 (日本) 横浜国立大学

沖縄料理はどうでしたか？



沖縄料理について、一番印象に残ったのはソーキそばです。一般的に、伝わる料理は、とてもおいしいか、文化と何らかの特殊なつながりがあると思います。この料理の名前が覚えられているのは、私が今唯一覚えている琉球方言とも関係があります。その方言は「ソーキたらん」、文字の意味はソーキ(スペアリブ)が足りない。実の意味は“バカ者、頭おかしい”です。なぜバカ者はソーキ不足と言う、脳みそ不足と言わないか良くわからないが、この言葉より、確かに「ソーキそば」というおいしい料理、そして沖縄料理におけるソーキの地位を感じられます。

王 英男 (中国) 専門学校東京ビジュアルアーツ

沖縄に行く前に私が探した沖縄リュリはゴヤチャンプルと沖縄そば、タコ飯だった。沖縄そばは日本とこでもあることがそばだからあんまり期待はしなかった。しかし、ゴヤチャンプルとタコ飯は私の考え方では沖縄の特色を持つ料理だと考えて必ず食べると思った料理だとであった。直接ためてみたタコ飯は三つの文化（琉球、日本、アメリカ）の中で日本とアメリカが混ぜた味だった。ゴヤチャンプルもアメリカのスパムとゴヤが混ぜた味だったので満足した。それに、琉球料理であるジマミ豆腐とモズク料理も食べることができて三つの文化が混ぜていると言われている沖縄料理を全部食べることで三の食文化を感じることができてよい経験になったと思います。

申 祥フン (韓国) 国士舘大学

沖縄に行く前に、肉料理、特にステーキが有名だと聞きました。しかし、沖縄に来たら、多くの地元の人から沖縄そばを紹介してくれました。実際に食べてみたら、思ったより美味しかったです。見た目はラーメンのようだが、麺はうどんのように太くなく、蕎麦のように細くなく、初めてみた麺でした。食感も独特でした。スープも食べたことない味でした。調べてみたら、小麦粉と木灰の灰汁で作られました。それに、ラーメンのようにチャーシューをのせるではなく、すごく厚く、ジューシーな肉を載せました。いっぱい食べたら絶対満腹です。

GAO JUN (中国) 国士舘大学

うまく説明することは難しいが、アメリカや中国の文化が混ざっているので独特の料理が多いと感じた。基本的に美味しいが胃もたれしやすいので胃が弱い人はそれに対応した準備をしておくことと安心である。ホームステイ先の方が作って下さった料理は胃もたれしないように配慮されていたのでありがたかった。また、料理名も独特なものが多いので比較的覚えやすかった。

中村 晃大 (日本) 横浜国立大学

地図から見ると小さい島ですけど、天の恵みで、お肉とお魚全部すごく美味しいです。その中にやはり一番気に入ったのは「ミミガー」です。中国にいる時、豚のミミがつまみとして人気です。今回ミミガーの炒めを始めて食べて、甘辛口で奇妙な味付けで、でもやはり美味しいです。また、牛肉もすごく美味しいです。おばあちゃんの家で食べた伊江島牛と本島で食べたステーキも、赤身だけど柔らかくて食べやすいです。

李 欣 (中国) 中央大学大学院

沖縄料理と伝統的な日本料理を比べて、全然違うと思います。その中で、ゴーヤー料理は大好きになります。実は、沖縄料理と私の故郷の料理はいろいろな似ている点があります。おばあさんを作った料理の味を思い出した。沖縄があったものの私の故郷もあります。しかし、東京であまり見ることがない。久しぶりの味を感じました。

HUANG KEYU (中国) 東洋大学大学院



引率 後記



今回の「沖縄・伊江島研修会」は、実に2年ぶりの開催となりました。

コロナ禍のなかホームステイを受け入れてくださったホストファミリーの方々や伊江島観光協会、体験先の屋我地エコツアーネット、又吉コーヒー園の皆さまに、改めて厚く御礼申し上げます。

応募申込者は23名でしたが、新型コロナウイルスの影響により7名がキャンセルとなり、最終参加者は15名となりました。15名中14名が初めての沖縄訪問で、見慣れない街並みや沖縄料理、暖かい気候に心躍る毎日を過ごしていたように思います。

ホームステイでは、沖縄の離島での暮らしを満喫しました。母国を離れて日本で生活する留学生にとっては、久しぶりに家庭の温かみを感じた様子で、特に伊江島の人々の優しさ、人付き合いの深さには驚かされたようです。ホストファミリーから「また帰ってくるんだよ」とかけていただいた言葉に、多くの留学生が伊江島の再訪を約束したはずです。

屋我地島でのカヤック体験は、多くの学生がうまく漕げるのか心配していたようですが、いざ乗り始めてみると、都会では見られない風景や自然の豊かさに、徐々に面白味を感じてきた様子でした。中州にある島ではカニや貝など珍しい生き物を発見し、とても盛り上がりました。

又吉コーヒー園でのコーヒー焙煎体験は、沖縄の産業を学ぶ上で最も良い機会となりました。何気なく飲んでいるコーヒーですが、焙煎の時間・方法、お湯の淹れ方により、全く異なる味が出ます。美味しく淹れるコツを一生懸命学んで、自分だけのオリジナルコーヒーを味わっている様子が印象的でした。温暖な気候ならではのコーヒー栽培と、世界市場に向けた今後の可能性について、たくさん教えていただきました。

新型コロナウイルスにより自粛生活が長く続いた学生たちにとって、今回の研修会はとても貴重な体験で、心身ともに良い影響を与えたようでした。特に今年3月で学校を卒業する人、母国へ帰国する人にとっては、「学生生活最後の思い出を残したい」との気持ちが強かったようです。この研修会が、皆さんのその想いに応えられていれば、とても嬉しく思います。

皆さんと過ごした6日間、とても楽しく過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

(一財) 共立国際交流奨学財団
公益企画課 土屋 麻美



一般財団法人
共立国際交流奨学財団

KYORITSU INTERNATIONAL FOUNDATION

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-3 アヤベビル4F

TEL : 03-5295-0205

FAX : 03-5295-0206

E-mail : kif-info@dormy.co.jp

URL : www.kif-org.com

